

第 44 回 南海トラフ巨大地震（広報まつぎき 令和 7 年 8 月号掲載）

政府が新たな被害想定を今年 3 月に公表しました。これを受け、土木学会が 6 月に公表した経済被害についての試算は、20 年あまり続く影響を考慮すると 1 4 6 6 兆円に上るとのことです。この未曾有の大災害を控え、我々国民は何をどうすべきか、一人一人が考えていく必要があります。我が松崎町でも、今年度「地域防災計画」の改訂事業を実施予定としていて、来る災害に備えを強化していくつもりです。平時からの対応としては、自衛隊や海上保安庁、気象台、静岡県危機管理関係部局などできるだけ顔の見える関係を構築し、有事の際に速やかに対応できるよう備えています。また、被災した場合においても、遠距離自治体などとの災害時支援協定や多くの民間事業所と協定を結んでいて、中長期にわたるであろう避難生活にも備えています。まだまだ、防災というものはこれで良しということはありませんので、町としてもできることを積み重ねていきます。台風や豪雨への備えと南海トラフ巨大地震への備えとは異なりますが、防災対策の基本は「自助」、自らの命は自らが守る意識をまずは持つていただくことが大切です。来月には総合防災訓練も実施しますので、積極的に参加をお願いします。